

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	サン・サンスタッフ派遣事業		
事業担当	学校教育部 教育総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、教職員	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標	事業の概要	
学校教育の場において、教育活動や読書活動が充実していません。		児童、生徒一人一人に応じた指導の充実や学習活動及び読書活動の充実を図るため、サン・サンスタッフ（学習支援補助員、学校司書）を派遣します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	学習支援補助員配置人数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	100	105	110		
	実績	100	110	110		
活動指標②	指標名	学校司書配置人数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	43	43	43		
	実績	43	43	43		
成果指標①	指標名	学習支援補助員派遣の効果に対する学校評価			単位	点
	説明・算定式	「サン・サンスタッフ(学習支援補助員)による支援は効果があった」とする学校からの評価(5段階)の平均値				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	4.6	4.7	4.7		
	実績	4.6	4.6	4.8		
成果指標②	指標名	学校司書派遣の効果に対する学校評価			単位	点
	説明・算定式	「サン・サンスタッフ(学校司書)による読書支援活動は効果があった」とする学校からの評価(5段階)の平均値				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	4.6	4.7	4.7		
	実績	4.5	4.5	4.6		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
サン・サンスタッフ(学習支援補助員)を全小・中学校へ派遣し、学習・生活面で適正かつ細やかな支援を行うとともに、落ち着いた学習できる環境や授業体制づくりを補助しました。また、サン・サンスタッフ(学校司書)は、平成24年度から全小・中学校へ配置を行い、学習活動や読書活動の充実と学校図書館の整備及び充実を図りました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	サン・サンスタッフ(学習支援補助員)は、様々な課題を持つ児童・生徒への支援を行っており、また、サン・サンスタッフ(学校司書)は、「平塚市子ども読書推進計画」と連動し、学校や地域からの要望が高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	派遣により、様々な課題を持つ児童・生徒への適切かつきめ細かな対応が図られ、落ち着いた授業・学級形成が可能となり、また、学校図書館活動が充実しているため、地域・保護者・学校から高い評価を得ています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	様々な課題を持つ児童・生徒への適切かつきめ細かな支援を行っており、地域・保護者・学校からも要望が高いため、事業内容は妥当性が高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	学習支援や学校図書館活動推進のためのサン・サンスタッフ派遣のニーズは高く、更なる推進のため、現有数での派遣に加え拡充をするとともに、適正配置により事業の効率性を高める必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 特別な支援を必要としている子どもは年々増えているので、サン・サンスタッフ(学習支援補助員)の派遣の重要性、必要性は高まっています。今後も学校のニーズ等を考慮した適正配置に向け、人数や年間雇用日数、勤務時間等の検討が必要です。また、サン・サンスタッフ(学校司書)についても学校からの要望は多様であり、今後も質の向上が必要であると考えます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		サン・サンスタッフの派遣	サン・サンスタッフの派遣	サン・サンスタッフの派遣
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	73,983	76,875	78,929
事業費 (A)		73,983	76,875	78,929
執行率 (%)		98.85	99.44	99.52

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 サン・サンスタッフ(学習支援補助員)は、小中学校の現場の実態を把握し、有効的な人員配置とします。また、サン・サンスタッフ(学校司書)は、中央図書館の「子ども読書活動推進事業」と連携を図った人員配置とします。
課長コメント 学校教育法改正による小・中学校等における特別支援教育の推進や、さまざまな課題を抱える子どもたちに対し、サン・サンスタッフ(学習支援補助員)派遣の重要性・必要性は学校だけでなく地域・保護者からも認められています。また、読書活動推進のためサン・サンスタッフ(学校司書)の必要性は高く、全小・中学校への配置を継続していきます。